

# 女体百景

〈100〉

最終回

## 絶世の美女

細川

董ただす

／＼文とえ／哲学者

絶世の美女などというものは、此の世にいるものではない。しかし「絶世の美女」と思わしき者はいるのである。私も、たまにはこういう女性に出遇うこともあるのである。

とかく美女とは縁はうすいのだが無縁ではないのだ。

彼女等はスマートであり御承知の如く美貌であるが、近寄り難いのである。

そして知るのである。

彼女等が如何にしっかりと心根の持主であるかを……

しっかりといたという言葉は当たっていないかもしれぬ。

常識的にはむしろ逆かも知れない。

彼女等は非常識といった方が当っているかもしれないのだ。普通の女の子では、到底、出来ないことをいひもし、やりもするのだ。

驚きである。

恐怖である。

それもこれも美貌からくる自信のなせるわざかもしれぬ。親えたちうち出来ないというのだから、他人なんぞへのカップバであらう。

美しいバラにはトゲがある、のたとえば、彼女等にこそ当てはまるのかも知れぬ。

才女兼備の絶世の美女を仮りにA子としよう。

彼女は国家試験に合格して今春医者のおりになったばかり。ある大病院の、ある科に配属になった。

女とはいえ、押しも押されぬお医者様である。

彼女はいわゆる絶世の美女というやつであるから評判にならぬ筈はない。

彼女が行く病院の近くの食堂は昼食時には各科の教授連でたちまち一杯になった。

どうせ食べるならあじけない大病院のこと、彼女の美しい顔を遠くからでも眺めながらというのである。

おさまらないのは看護婦達である。

大体、当世、大病院の看護婦というのはえらそうにしているものだ。日頃からチャホヤされているのである。

とくに新米の若い男の医者ときた日にははたで見るとえもどかしくなるほど看護婦には、ヘラヘラしているものだ。若い男の医者の方が下手に出て看護婦様に何かと御世話いただくのである。

目に余るものがある。

患者の目から見れば見ちゃおれないほどの看護婦様のいばり様である。若い男の医者は看護婦には甘えておく方が得策だと考えている風だ。

何事も損得の世の中と心得ているところがにくらしい。

要は若い男の医者は、看護婦に鼻毛を抜かれてしまっているのだ。

その点、若い女医さんは看護婦さんに甘えるわけにはいかぬのだ。むしろ逆である。仇同志である。

まして、絶世の美女と来ては大変だ。

さて、看護婦も看護婦、大看護婦ともいうべき婦長の前では大の教授も形なしだ。



そのかわり、午後婦長を医局の彼女のデスクに呼びつけたのである。そして、正々堂々、婦長の非をなじったのだ。

「婦長さんだからといって、いくらなんでも入院患者の前で教授のやり方に、とやかくいわないでいただけませんか？ お願いますよ」四十近い独身の婦長はこれを知りたとき、頭がはりさけんばかりもちろん、返す言葉も出ないほど若僧の新米の女医に叱責されるなんて、夢にも予想出来なかったこと。

よりにもよって、絶世の美女の前で婦長は一大ヒステリーを起したのである。開いた口から、言葉が出ようはずもなかった。

一大事件は、病院中にひろがった。絶世の美女とは、こんなものなのだ。

私は、この話を直接、絶世の美女A子さんから聞いて今一度、彼女の顔を見直したのである。

ああ、このやさしい、美しく、かよい、ほっそりした美女のかそけ唇から、何という恐ろしい言葉が飛び出すのであろうかと。

A子さんの細い手足。なやかな腰のあたり。白い細いうなじ。それらのどの部分も彼女の話とは裏はらのように思えてならなかった。

しかし、不思議である。

絶世の美女A子さんは、その後婦長さんと、かえって仲好くしているというのである。

●細川薫先生にご執筆いただいた「女体百景」が今号をもちまして最終回を迎えました。長い間にわたってご愛読ありがとうございました。なお新年号より細川先生の新連載が始まります。ご期待ください。

病院とは普通そんな所なのだが……。

そんな病院で、ある日、大事件が起ったのだから面白い。婦長が教授の処置について、患者の目の前で文句をつけたのである。

ここまでは、よくあることなのだ。ところがである。

この場に、絶世の美女の新米女医が居合わせたのがいけなかった。彼女には、これが許せなかったのだ。

△如何に、婦長とはいえ、教授を患者の前でたしなめるとは……。▽

絶世の美女A子さんは、その場ででも婦長をとっちめてやりたかった。しかし、いくらなんでもそれだけは思いとどまったのだ。

豪華さとおつろぎと本物の味



ハイセンスな神戸っ子の憩いのオアシス  
気品あるムードのなかでおつろぎください



喫茶館  
**英國屋**

神戸国際会館浜側  
TEL 251 - 4562  
8:00AM~11:00PM 無休

■珈琲と私(7)

こな雪舞う 12月です  
彼の言葉がよみがえる  
コートを手にもつ散歩道  
そこにナイルがあります  
やさしい季節……

伴 五郎  
（茶房ナイル店主）



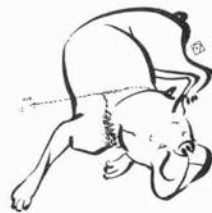
**茶房 ナイル**

神戸市中央区下山手通6-2-7  
Phone (078) 341-7376

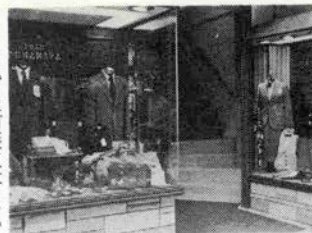
8:00AM~9:00PM 日曜祝日は正午まで  
設計・環境設計事務所 伊藤 司  
施工・まこと工務 菅 忠夫



# 神戸百店会 だより



## ★フナキヤに新しく レディスコーナー誕生



メンズとレディスが揃ったフナキヤ

2月から新装工事にかけ、ついていたフナキヤが、10月3日に1Fのメンズコーナー、10月24日に2Fのレディスコーナーをオープン。フナキヤと言えば、今までは紳士用品中心だったが新装に伴って、本格的にレディスものを揃え、TRADで統一している。店内はTRADの古めかしさを取り入れたクラシック調。「同一素材、同一パターンをベア商品として売り出していきたい」と安達昭三社長。お客様が休憩できるよう応接室もそなえている。

## ★シンワの専務ゴールデン ブティック「シンワ」の



岸野恭久・啓子ご夫妻

岸野利男さんのご長男、恭久さんが、吉村啓子さんと結婚され、披露宴が、10月11日(土)午後4時から生田神社会館大ホールで華やかにそして、和やかに開かれた。恭久さんは甲南大の出身とあって媒酌は甲南大の三島康雄教授ご夫妻。竹馬産業社長、竹馬準之助、兵庫信用金庫理事長、園田正和、UCC上島珈琲本社長、上島達司の各氏が祝辞を贈った。会場は岸野利男さんの人柄もあり、めでたさが一杯。

## ★源氏物語のおもむきを 和菓子にこめて

和洋菓子の風月堂では、元町本店とモンテメール3F店でのみ10月より源氏菓子販売し始めた。

この源氏菓子は、村山リウ先生の御講義で昭和42年から続いている「源氏物語を聞く会」に出すために風月堂相談役の吉川冬季子さんが考案されたお茶菓子。



(上) 蓮華の邸  
(下) 須磨の浦

「季節に合った材料で物語の情緒をお菓子にあらわしたのです」とのこと。  
180種類ぐらいある中から12月は、明石姫誕生、雲井雁、野分、車争、灰かぐら等が店頭に並んでいる。

1個250円 千菓子1000円

## ★カスカードさんブラザ店 新装オープン!

カスカードさんブラザB1店が10月17日、装い新たにオープンした。



"eat in corner"がオープン

今までの製パン工場と販売の他に、買う楽しめと食べる楽しめを同時に味わえる「eat in corner」を新設。店内はレンガの壁の落ち着いた雰囲気、焼きたてのパンで作ったサンドイッチとドリンクを楽しめる。

## ● ショップトビックス

★10月24日、大阪梅田に白い大きな船を型どったファンタスティックなカルチャースペース「NAVIO 阪急」がオープンしました。B2から5Fまでのファッショナブル・ゾーンには全部で123店が軒を並べています。神戸百店会からは、三愛、セリザワ、ウネ、西川、リザサロン、ベニヤが店舗し、神戸のエスプリを広めてくれます。

★パッケージがそのままクリスマスカードになったモロゾフのスイート・メール(700円)。内側にメッセージを書いて、200円切手を貼ってそのまま郵便ポストに。ぎゅっしり詰まったチョコレートと一緒にあなたの心を伝えましょう  
★素敵なクリスマススの夕べを「オリエンタルホテル」THE CHURCH RISTMASで過ごしませんか。12月20日(土) ハゲストV中村晃子 キングドーンズ  
ハ演奏V居上博とファインメイツ

①ディナリッシュ  
ディナリッシュ 4・30 5・45  
ショータイム 5・45 7・00  
¥25000 (税・サ込) フルコースディナー、豪華景品抽選会付  
②グランドパーティ  
ディナリッシュ 6・30 7・00  
ショータイム 7・45 9・00  
¥20000 (税・サ込) フルコースディナー、豪華景品抽選会付

★元町1番街のアーケード(ルナテード)は建設工事が天候不順のため、かなり遅れていましたが、12月8日に完成します。

★ドンクのチェーン店「ジョルダン・ド・フランス」が北野町にオープン。フランス人シェフ、アラキさんが作るサンドイッチとケーキの店です。ケーキはすべてこの店の奥で作ります。又一つ新しいケーキ名所の誕生というわけ。神戸市中央区北野町3丁目1の1

電話 222-1356 7

# ポケット ジャーナル



## ★長田神社修造完成を

祝って、遷座祭・奉幣祭  
再建五十周年を記念して  
五十二年秋から、六億円を  
投じて、本殿の修復や宝物  
庫、参集殿などの新築を進  
めていた長田神社では、こ  
のほどすべての修造事業を  
完成した



高松宮ご夫妻も参列

二日午後  
七時から  
修復工事  
中、仮殿  
でおまつ  
りしてい  
た御神体  
を本殿に移す「本殿遷座祭」  
が行われた。物音一つしな  
い暗闇の中を絹垣に囲まれ  
た御神体が津田信基宮司の  
手で本殿に戻された。

また、十三日午前十時か  
らは高松宮ご夫妻が参列さ  
れ、天皇陛下からいただいた  
供物を神前に供える「本

殿奉幣祭」が雨の中、厳か  
にとり行われた。

## ★県文化賞、国際文化賞、

科学賞、社会賞決まる  
本年度の兵庫県文化賞、  
国際文化賞、科学賞、社会  
賞の受賞者が次のとおり決  
定し、11月6日に兵庫県立  
フラワースタターで贈呈式  
が行われた。



上段右：赤尾、左：加藤、中段右：  
伊丹、左：善竹、下段：カネディ  
ン・アカデミー

△文化賞▽赤尾兜子(俳誌「満」主宰)  
池内神舟(書道家、伊丹三樹彦俳  
誌「青玄」主宰)、加藤得二(県文化財  
保護審議会委員)、善竹忠一郎(狂言  
師)兵庫県美術家同盟(草野誠代表)  
△国際文化賞▽カネディン・アカ  
デミー

△科学賞▽石神要次(大学教授、小  
嶋吉雄(大学教授、玉真哲雄(会社  
員、松本恒隆(大学教授)

△社会賞▽田中義徳(医師)、植木賢  
純(県民生委員連合会長)、兵庫県精  
神衛生協会

また10月31日から11月12  
日まで文化賞受賞者の作品  
展が兵庫県民ギャラリーに  
て開催され、売却金の一部  
が県内社会福祉事業に寄付  
された。

## ★センター街がカラーロー

ドに生まれかわった  
さんちかタウンの改装に  
引き続き三宮センター街  
一丁目の舗道がファッショ  
ナブルなカラーロードに変  
身した。インド産のレンガ  
色がまじった御影石が落ち  
着いた雰囲気を醸し出す。  
あわせてジャンボアーケー  
ドも完成。10月11日には宮  
崎市長やクイーン神戸を迎  
えて完成記  
念の催しが  
盛大に行わ  
れた。



華やかな式典

玄関がまた一つ整備され、  
ポートピア81の準備OKと  
いう感じだ。

## ★主婦として女として

私たちは生きて来ました  
本誌のエッセイ「神戸歳  
時記」の作者、三枝和子さ  
んの編



編者の  
三枝和子さん  
の編  
集にな  
る一冊  
のエッ

誕生日  
ありがとう  
運動



古切手に  
新しいのちを!!

年末になり各家庭や会社などで  
郵便物の整理をされることでし  
ょう。  
この運動では、古切手(使用済  
の日本・外国どんな切手でも可)  
を集めています。そして、この運  
動ではみなさんからいただいた古  
切手を売却して、運動推進の費用  
の一部としています。

古切手の周囲を約一センチほど  
残して切りとって、本運動の事務  
所へ郵送してください。か持参して  
いただけません。か。いただいた方  
には、運動参加カードと、この運  
動の啓発紙を送り、お礼としてい  
ます。

本運動の事務局へは、全国各地  
から、毎日、郵便や小包でたくさ  
ん送ってください。  
あなたも、あなたのまわりにあ  
る古切手にハサミをいれるという  
行為を通じて、なにげなく捨てら  
れていた古切手に新しいのちを  
与えてください。

そして、みなさんのあたたかい  
心を集める福祉のこの運動に、ご  
参加ください。

誕生日ありがとう運動本部

61神戸市中央区御幸通八一六  
神戸国際会館内  
電話二五一八一六内三六







著者の倉本さん

「女は料理長にないか」は、現在、神戸女子短大で料理を教える倉本百合子さんが5年半にわたるフランスでの体験をまとめたものだが、料理研究家らしい細やかな行き届いた目で、フランスの家庭や学生気質などが覗かれていて楽しい読み物になっている。

発行元/あすなろ社・980円

### ★柴田旭堂師の神戸文化賞

#### 受賞パーティ開く

神戸文化賞を受賞した琵琶の柴田旭堂師は、ソニーレコード出版と引き続いて

の古報に、十月六日オリエンタルホテルばらの間で、受賞パーティが開かれた。当夜は、娘の旭艶さん（上原まり）との「流れ」の演奏が印象的。宝塚歌劇団を退きいよいよ母娘が共に琵琶の道に励むという。



左・旭艶さん 右・旭堂

★レコード「旭堂の世界」三枚組 一万円（お問合わせ221・1161）  
川旅情の唄/十三夜/流れ他

### ★「猫」入選作品展を開催

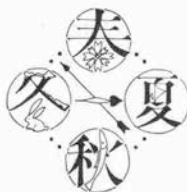
ギャラリイ啓世では、一人でも多くの方に版画を楽

しんでいたきたいという趣旨でモチーフ別版画を全国公募しているが、第1回公募入選作品展「猫」を10月16日〜28日まで開催した。同時に今年5月14日に逝去された稲垣知雄先生の木版画遺作展「残された猫達」が併催され、絶版となった作品40数点が展示された。

また、「猫」に因んで開かれたにゃん友会の猫の小物・本等の展示即売会もネコマニアに好評だった。

モチーフ別（人物、花、鳥、動物、静物）版画公募展の応募規定は切手100円分同封にて左記へご請求下さい  
ギャラリイ啓世 〒650 西宮市羽衣町7-26 アルベジオ風川4F  
☎0798-13613676

## 花時計



### 地図から消える 生田区と葦合区

この十二月から生田区と葦合区が合併されて、新しく中央区が誕生した。これも行政改革の先取りとして歓迎されるべきものであろう。それは、それでいいのだが、何分

「生田区」と「葦合区」という伝統のない語感の名前が消えて、全くありふれた中央区という東京都から名前を借りてきたのではないかと思われないうなネーミングが登場してきて、実に評判が悪い。

恐らくこの名前も思索の末、アンケートなどに頼って決められたのではないかと思う。今更どうにもとまらない話だが、「生田区」という名前の起源は日本書紀の時代に遡る。もちろん、源平の

合戦の古戦場であり、生田の森はあまりにも有名である。また、葦合という名前は鎌倉時代に八葦屋荘Vという地名があり、明治初年に熊内、生田、中尾、滝寺新田、中、脇浜、小野新田の七カ村が合併して葦合村が出来たという。いずれにしても

由緒のある名であった。海上文化都市を標榜しファッション都市の旗を掲げる神戸の心臓部が中央区では、銀座の末流のようで気色が悪いと市民一般の批判である（＼＼

## KOBE POST

★作家の灰谷健次郎さんは、淡路島に住いに移されました。〒656-16兵庫県津名郡北淡町黒谷。☎079-984-1411。一四四一な。お仕事の連絡は東京の理論社あてにどうぞのことです。

★版画家の川西祐三郎さんが、御影へ転居。〒658神戸市東灘区御影山手一丁目七ノ十一番〇七八（八四）六〇七〇が新住所です。

★にしむら珈琲店（川瀬喜代子）の住所が変更になりました。本店Ⅱ中央区中山手通一丁目26-3ノ1番20号/三宮店Ⅱ中央区琴緒町5丁目3番5号/センター街店Ⅱ中央区三宮町2丁目10番27号

★海野光雄（毎日放送）海野光子（カナデア・アカデミー）さんご夫妻が転居されました。新住所は〒650西宮市仁川町三丁目七二四番〇七九八五二一六五二五

★石阪春生素描展がミカゲ・ガーデンシティの金子真珠で、十一月二十八日〜十二月二十日まで開かれますので近くの方はお立寄りをお願いします。★ヤマギワ神戸店の斎藤守店長が札幌店（〒060札幌市中央区北一条西一丁目五番一〇番一）（二二一）一三二一自宅（札幌市豊平区平岸四十四丁目五番三ノ二）一〇番一（八二）九四二五へ栄転され、後任に安藤さんが神戸店長に。

★パリ在住の松谷武判さんが帰国され、元町画廊で11月22日から12月3日まで個展を開く。松谷さんは年内は日本滞在の予定。★一年にわたって本誌の目次を飾っていたいた木下佳通代さんの作品展がギャラリイ神戸時代で11月15日から30日まで開かれました



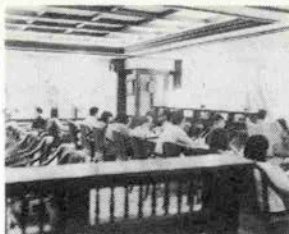
びっと・いん



カット/橋 昭三

★白いカーテンに包まれ  
ゆっくり寛げる部屋

連日賑わう三宮駅山側の  
にしむら珈琲三宮店が10月  
9日、2階を増築オープン  
した。1階よりらせん階段  
で上がる2階はじゅうたん  
を敷きつめた60席の広い部  
屋、広い窓にかかる白いカ  
ーテンが清々しい。椅子は  
1階のブルーとは対照的に  
エンジ色で統一され、シッ  
クなインテリアが落ち着い  
た雰囲気である。



広々としたにしむら珈琲三宮店2F

川瀬喜代子オーナーの細  
かい心遣いが店内に感じら  
れ、2階からの見晴らしも  
よく神戸の玄関口にふさわ  
しいティールームになった

★宴会シーズン到来に向け  
花銀別館オープン

「海皇」のある大西ビル  
4Fに11月20日、完全会員  
制の日本料理「花銀別館」  
がオープンした。大広間に  
も使える個室8室は畳の上  
にラタン家具という和風と  
洋風をミックスした造りで  
海か山が必ず見える。正会  
員、女性会員、県外会員、  
外人会員の4種類の個人会  
員があり、会員相互の親睦  
を深めるイベントを多種企  
画し、会員の特典も多い。  
日本料理を味わいながら、  
ゆっくり寛げる場を、とい  
う大人向きの趣向。

お問い合わせは花銀事務局 222  
212323

★宴会の幹事さん、

これ一冊でOKです  
師走となると忘年会、年  
が明ければ新年会、楽し  
くなる



好評幹事トラの巻  
は幹  
事さ

ウエーブ/神戸市中央区加納町4丁  
目ビジネスホテル第2北上地階  
室39213166  
メニュー/ビール・水割 各400  
円、チキンバスケット700円、肉  
のたたき1200円、ピフカツ1  
500円、ロバートブラウン450  
0円、エンブレム6000円、チャ  
ージ3000円。  
PM5:1AM1無休



船出を祝うWAVEの仲間たち

んの腕次第、そこで紹介し  
たいのが幹事トラの巻。和  
洋中の宴会場から、各種の  
余興までが満載。ぜひ一読。  
申込み方法/封書に返信用切手14  
0円を同封、住所・氏名を記入の上  
〒650中央区八幡通4-1-32神戸新  
聞事業社「幹事トラの巻」係まで。  
★シツクで和やかな店

WAVEがオープン

ジャズの店「サテンドー  
ル」のマネージャー、井上  
豊さんが、去る10月23日、  
ラウンジ「WAVE」を開  
店。オープニングの夜は、  
井上クンの人柄もあって、  
広い範囲にわたる人たちが約  
三百人が来店。またサテン  
ドルのベジススト伊藤修  
二さんやヴオーカルの宇田  
川妙さんらミュージシャン  
仲間も多く集まり、波をも  
乗り越える船出を演奏で祝  
福した。

●神戸うまいもん  
とドリンキング

シーフード・レストラン

コロニア・コパカバーナ  
中央区中山手通2丁目  
赤い風車のあるビル2F  
電話3921243516

サンパとブラジル料理  
の店「コパカバーナ」の  
姉妹店で、シーフードレ  
ストラン「コロニア・コ  
パカバーナ」が去る10月



南国ムードいっぱいの店内

23日にオープンした。広  
いスペースいっぱいには南  
国ムードがあふれる店内  
は、カリブポリネシア料  
理を炉端焼風に楽しむコ  
ーナー、オズニ・シツケ  
イラ・メロのピアノ弾き  
語りを楽しむコーナー、  
パーティーなどその時  
に応じて好みのスタイル  
で楽しめるようになって  
おり、コパカバーナとは  
少しちがったムードで早  
くも好評だ。

MENU/ロブスターグリル、  
ロブスターバハマスタイル、小  
えびのココナッツ風味他



暗葉樹

刀禰喜美子

繪／南和好



瀬川は洋間のソファに、両膝を閉じて揃え浅く腰掛けていた。

「水割りを作って頂戴。媚薬を飲まないと、くのいちにはなれないもの」

伸子はサイドボードからウイスキーの瓶とグラスとアイスペールを取り出した。瀬川はキッチンがどこだと指図しなくても、アイスペールを下げてその方に行った。

伸子はろうそくやスカーフを用意した。木谷に牛並み

に扱われた仕返しを果たす時がきた。

瀬川は水割りのグラスを静かに廻し氷の音を聞く振りをしながら、伸子の動静を探る目付きをしている。先生の言われた通りします、といったのに対して、伸子がほんとに絶対だわねと念を押した、その絶対の言葉に今になって怯えを覚えているのかもしれない。グラスを握っている手が微かに震えている。長い足を持て余すように横坐りにしている。ソファに腰掛けずに絨緞の上にじかに坐っているのが、伸子には好都合だった。そのまま蹴り倒せるからだ。

「電気を消して、そのろうそくをつけて！」

ろうそくはクリスマスの時に使った残りだ。金色で螺旋状になっている。

一瞬、部屋は暗くなった。やがて、ろうそく特有の不気味な明度になる。仄暗い空間に伸子と瀬川のシルエツトが墨絵のように浮かび上がる。微かに動くろうそくの焰は、あの時の性を再現せよと伸子にけしかけてきた。

伸子は瀬川の手からグラスを取り上げた。朱色のスカーフで瀬川の両手を縛った。テーブルの位置を少しずらす。ガラス器具が音を立てた。絨緞の谷間へ瀬川を勢いよく押し倒した。瀬川は観念したように眼を瞑じていた。

木谷は皮の長靴で伸子の尻を蹴った。伸子はスリッパで瀬川の軀を蹴った。スリッパは脱げて壁に当たった。スリッパ無しの足でところかまわずに蹴った。瀬川の軀はころころと半廻転した。

上半身の着衣を剥いだ。ピリツと裂ける音がした。剥がしにくいジーンズは瀬川も腰を浮かせたりして協力した。伸子はテーブルセンターを掴むと手拭いをしごくように細くし、それで瀬川の裸身を思いつき叩いた。空気を切る音がする。赤い跡が付く。布はまた弧を描いて空中に躍る。

伸子は馬乗りになった。瀬川の顔色は蒼ざめ、口尻を歪めている。

「ハムシ奴が襲ってくる」といつて自分の腕を捻っていた木谷の姿が伸子の脳裏を掠めた。馬乗りのまま瀬川の腕を捻っていく。ああ、と瀬川は苦痛の声をあげ、歪めていた口尻を更に歪めた。

「痛い顔をしてはダメ。いい気持だという表情で」

瀬川は歪めた顔のまま笑った。笑顔にはならず苦悶の表情そのものだった。捻る。爪をたてる。乳首を咬む。それを繰り返した。肌に絞り染めのような斑らな模様が付く。

あの時、確か焦げる臭いがした。木谷がろうそくの焰を伸子の股間に這わせ、恥毛を灼いた。

伸子は瀬川の胸毛をみつめた。外観のか細い感じに似あわず胸毛が逞しさを誇っている。逞しいのを伸子は好まない。伸子の内部で逞しさは暴力と繋がっていた。立ち上がって金色のろうそくを燭台から抜くと、胸毛に近づけた。毛の焦げる臭いが漂った。ろうが一、二滴瀬川の胸に落ち、たちまち白く固った。瀬川が呻いた。

伸子は青春以来自分を囲繞してきた縄が今こそ解けて、木谷の呪詛から完璧に逃がれ出たと思った。木谷に存在した支配性と残虐性を自分の中にも発見することによって、木谷を許すことができた。

瀬川の手のスカーフを解くと、赤い筋がついていた。痛かっただろうと思わず撫でた。瀬川は伸子の手を払い除けた。

「お姫さまは下僕の傷など心配なさるものではありません。ベッドへお運びいたします」

苦痛など忘れた顔でいった。

伸子はベッドで今度は瀬川に行なったことを、すっかりそのまませよと命じた。瀬川は躊躇したが、手加減しながら従った。

被虐行為も自分が命じると加虐となる。苦痛は適当な刺激になった。瀬川も伸子の残忍さや加虐嗜好が少しも不快ではないといった。

「異常者だと思っているのでしょ」

「性の行為はどれも多少の異常性を含んでいないと、愉しくありません。有害なのは困りますが、従僕になるのは望むところでず」

形の上ではされる側だったが、伸子は命じたままを瀬川にさせていることで支配している意識になった。今までに關係した男の顔がかすんでいく。男の好みに合わせて従っていた伸子は眼鼻のないのっぺらぼうだった。

その手の触れ方はもっときつく、そうそう、そこは少し柔らかく、指だけでなく舌も合わせて使って——と命じ、少しでも瀬川が言った通りにしなかったらひっぱいた。その日の伸子の凹みの部分は生きていた。熱かった。冷やかな空洞ではなかった。

軀が次第に軽く存在が消えるまで粉々になって宙に浮かんだと思えば、重くなって海に沈み漂っていく。瀬川の指や掌や舌やそのものを器具として使いながら、一切が消滅して新しい景色が展開していった。暗い焰は今こそパチパチと弾け、燎原の火となって赫々と照り続けた。木谷も、通過していった男共も、火の粉になって舞い上がっていった。

ふっと気が付くと、背中が爪跡だらけの瀬川が、力尽きたように伸子の真横で寝転んでいた。

式が終了した。

緊張が解けていくざわめきが拡がっていった。来賓は控え室の方に歩いて行く。伸子はその場にじっと坐っていた。医者達の権力の強いこの種の専修学校は伸子の肌に合わない。医者達の輪の中にどうしてもはいっていけない伸子だった。組織とか権力とかを拒否し、微細な自家営業の中で女独りひっそりと生きてきたのに、何だって今頃組織の中にはいつてしまったのだらう。

瀬川によってやっと羽ばたけたばかりなのに、今度は組織というそれも医師会という巨大な縄で縛られて、身動きできなくなる予兆を覚える。

灯の消えたナイチンゲール像は演壇に取り残され孤影

を落としていた。学生達はその像にそっぽを向いていた。写真を撮る準備で椅子を運んでいる者もいる。女子学生達が伸子を囲みに来た。

「白衣、よく似合っているわ。もう一人前に見えるわよ」伸子は女子学生達に笑いかけた。その言葉で一人がくるりとターンして手足を延ばし白鳥の真似をした。靴下の白で白鳥らしく見える。その女子学生は伸子には強く印象に残っていた。教科書の「学習の手引き」の中に、

「自分を見失ってしまった時や、動揺してしまった時の具体的な場面を振りかえり、その時の心の動きを書きなさい」

というのがあった。その女子学生は自分が強姦に合った場面を赤裸々に書き、それによって自分の人生がどうのようにな変わったかを告白していた。

強姦後のひき千切られた服装や裸足の姿から、狭い村ではすぐさま噂になり、その上妊娠した。妊娠に気付いたのが遅すぎて、胎動の始った頃だったため産む決心をした、と書いていた。現在その子供を保育所に預けながら働いている。未婚の母という言葉が人の口にのぼりはじめた頃だと結んでいた。

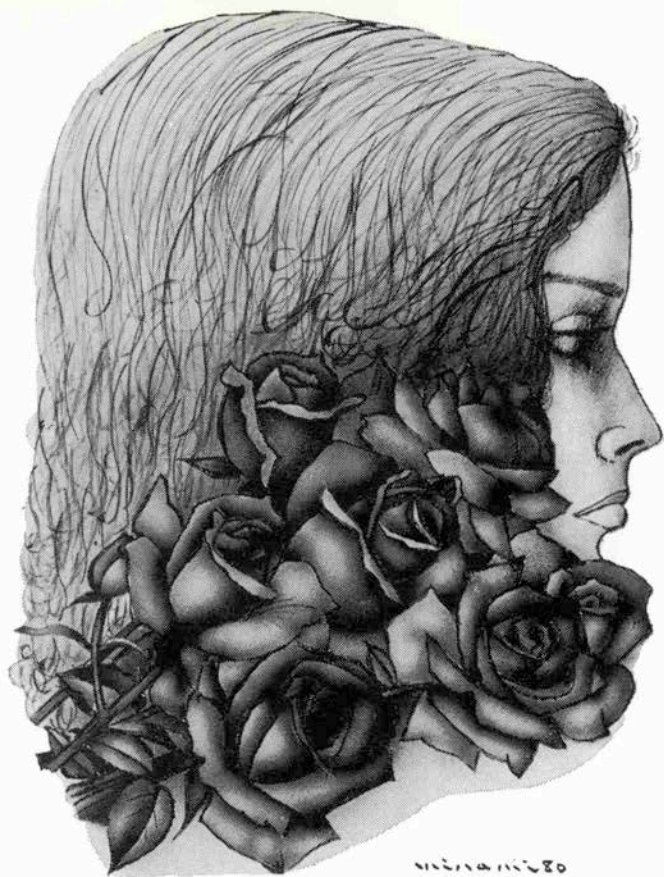
白衣を纏って白鳥のゼスチュアをしてみている女子学生からは、今も母親のイメージはない。ずい分若い年齢で犯されたものだという哀れさが湧く。おそらく妊娠などに関して全く無知で、胎動があつて始めて愕く幼さが納得できるのだった。

その女子学生のしたたかさに較べると、伸子は太刀打ちできないひ弱い生き方だったと思うのだ。強姦の中にも、幸、不幸があつた。彼女にも告白する機会があつても、

「先生のは、たったそれだけ」

と一笑に付されそんな気がする。彼女を眺めていると胸にたまっていることが一気に口を衝いて出ていきそうなの叫びがこみあげてくる。だが、伸子は今となっては誰にも多分告白をしないだらう。瀬川にも。





男子学生達も伸子の方によって来た。

「おめでとう」

伸子は一人一人に眼で祝った。

「実習に出ますので、先生とも当分お別れですね。写真撮したあと、飲みに行きましょうや」

「あら、ずるい。私達の方が先約なのよ。コーヒー飲みに行くのよ」

さきほどの女子学生が遮る。

「コーヒー位、三十分だろう。邪魔はしませんよ。そのあとのこと」

瀬川が近寄ってきた。

「花束を預かって下さい」

と伸子の膝に花をかばうようにそっと置いた。そして一瞬、伸子の瞳に宙に押ピンを止めたように視線をとどめると、忙しそうに椅子運びの人達の方に行った。

瀬川とはあれから三度関係した。今のところお互いのリズムは合っている。

伸子はコーヒーを付き合って、それから軽く飲みに行こう、瀬川も多分その仲間にはいつて来るだろうから、そのあと部屋に誘おうと勝手に決めた。

瀬川によって暗い焰の中に、明と暖をみつけた伸子は、今夜の性はこの花束のような明るい焰になりたいと花に顔を埋めた。バラの花の甘い香りが伸子を柔らかに包んでくれた。

(完)

地元タウン誌「月刊神戸っ子」総力編集

# ポートピア'81と神戸

神戸ポートアイランド博覧会徹底ガイド

12月中旬発売

全国書店・市内書店  
全国有力タウン誌窓口でお求め下さい

●ハンディタイプA5版変形328頁 予価680円

新しい海上都市ポートアイランドで開かれるポートピア'81〈神戸博〉の詳細な紹介を中心にわたしたちの愛する町神戸の魅力〈ショッピング・うまいもん・観光ポイント〉を網羅し、そして神戸を含む兵庫県下の観光ポイントを、それぞれ見て聞いて足で歩いて集録した徹底ガイドブックです。

●ポートピア'81——

会場案内及び交通機関案内 催しスケジュール  
レストラン・医療センターなど施設案内  
各パビリオン徹底ガイド

●神戸ガイド——

観光ポイント〈3時間・5時間コース〉  
ショッピング・ショット〈界限別〉  
うまいもんめぐり 神戸のホテル紹介  
わかりやすいイラストマップ付

●その他宝塚・姫路・赤穂・淡路島・丹波篠山・城崎浜坂湯村  
など近隣の観光ガイド

お申し込み・お問い合わせ

月刊神戸っ子・神戸市中央区東町113-1 大神ビル7F TEL (078) 331-2246

くつろぎの時に香り高い珈琲で



**モッテ**

市役所前KEビル1F ☎231-3605  
8:00AM~8:00PM 日曜祭日休

★女性客に人気です

気の合った仲間で囲むうどんすき



そば処・手打ちうどん

**木曾路**

市役所前KEビルBF ☎231-1295  
11AM~8:30PM 日曜祭日休

設計監修 木曾路建築事務所 和田利雄

●神戸元町で生まれた美味●

**とんかつ**



神戸市中央区元町通一丁目八番四号  
電話〇七八三三・一〇七五五代ノ七

とんかつ  
二つ茶屋

- ビーフ(神戸肉)かつ
- ビーフバター焼
- ロールかつ定食
- チーズかつ定食
- ヘレかつ定食
- ロースかつ定食
- 海老かつ定食
- かきフライ

元町駅		
	とんかつ一番	鮮
	二つ茶屋	川
元町三丁目	元町一番街	筋
		六
		丸



# 素

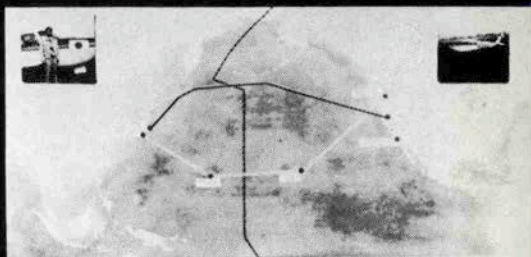
# アタのアメリカ

蒼・竜一

《作家》



恐らくこの世の中には、日常性の壁をたやすく越えることが出来る型の人も居れば、一生その壁を越えずに生きて行く型の人間も居る。最近、人は頼に臆病になり、臆病であることとを分別と読み替えてしまふまでになった。しかしながら……、男が童貞を捨てた日々、誰もかも大きく日常性の壁を越える勇氣を持っていたはずだ。とすれば、冒険野郎とは絶えず童貞を捨てる勇氣を持ち続ける人のことを言うのであろうか。



BICENTENNIAL MEMORIAL RECORD FLIGHT 1976  
NON-STOP TOKYO-CRESCENT CITY, CALIFORNIA, USA

MASAJIRO MIKE KAWATO

AUGUST 10, 1976 — SEPTEMBER 7, 1976

"DEDICATED TO THE AVIATORS FROM THE UNITED STATES AND JAPAN WHO SERVED IN THE PACIFIC DURING WORLD WAR II, AND AS A SPECIAL 'TRIBUTE' TO THE AVIATION PHOENIX FROM BOTH SIDES, MADE IN THE FIRST 'TRIP TO COUNTRIES' THE TRIP-USA GROUP, THE AVIATION AND AVIATION COURTESY HELD ME TO TURNER."

## 《7》アメリカ・ルポルタージュ

“太平洋単独無着陸横断飛行”を成し遂げた予科練生き残りの男のロマン！

この人生において人が何かに燃えるとは、一体何を意味するのであろう。明けても暮れても、一つのこと心に奪われ、情熱も生活のすべても何もかもを、その一点に凝集して生きて見せる。

世間の思惑も、損得も忘れて、ただそのことのために全身全霊を打ち込んで夢中になれたとしたら、これこそ至上の幸福と言わねばなるまい。さらにはその目的が、生産に直結せぬものであればある程、その情熱は浄化され、彼らのロマンはその輝きさえ帯びて来る。

## 空の冒険野郎

ここに紹介する一つのロマンは、五十歳を過ぎた男達が、所謂世間の分別を越えて、まるで少年のように大空への夢を見事に開花させた、一つのドラマだ。

男達は燃えた。——今となつては、黄金を打ち延べたように輝いて見える人生のその期間を、彼らは来る日も来る日も、飛行機飛行機で頭をはちきれんばかりにして駆けずり回った。とにかく文句なく燃えた。何が彼らをして、それ程までに燃え立たせたのか、その根底には、彼らが二様に少年の日、“予科練”であった体験が大きく介在しているようだ。奇しくも筆者は、まるで少年のように大空への夢をと述べたが、彼らこそ少年の日の夢をその後の人生に渡って、追い求め続けた人達ではなか

ったろうか。何とさやかな生き方であろう。所詮、人生とはそのようなものであり、人間とは、そのように寂しく美しくあらねばならぬ。愚痴は言うまい。少年の夢を、五十歳に叶えた。それでいい。それだけでよい。男とは、そのように生きねばならぬ。少年の日に見てしまった夢から、一生逃れられないのが男の宿命というものであるから……。

友人の青木のもとに世話になっている時、彼の経営するレストランに来るお客の中に、いたく私の興味も魅く



向って左から沖田夫妻、ミセス下田とミセス岩橋、下田各氏

人達が居た。アメリカの国籍を持ちながら、かつての日本帝国の「海軍甲種飛行予科練習生」の体験を持った人達であったこと。さらには今から四年前、アメリカ建国二百年祭の夏、軽飛行機による太平洋無着陸横断飛行を成功させたのは、他ならぬこの人達であったことを知って、私の血が騒ぎ出した。

おもしろいと思った。いずれも五十歳を過ぎた分別盛りの男達が、一日に何便もジャンボジェットの舞い下りるこの世の中に、零戦のような小型機で広い太平洋を横断しようというのである。横断してどうなるというのでもない。加えて、莫大な資金が要る。それにまず九割方は飛行機もろとも命も落とすという冒険に、敢て挑戦しようというのである。それが如何に危険な難事業であるかは、まずは小型機であるからして、ガソリンタンクにプロペラと翼を付けて飛び上がるようなものだと思像して頂ければよい。それに太平洋を横断するに足るガソリンの量を積めば、二百五十馬力のパイパー「コマンチ」のオーバーウエイトは一五〇％にも達する。飛行にはF A A（連邦航空局）の許可が要るが、そのためのテスト飛行の段になって、テスト・パイロットが、胆を冷やしたという。タイヤがべちゃんこになり重さで尾翼が地面に着きそうになっている乗機を見てのことである。テスト・パイロットに代って、結局、元ラバウル航空隊の零戦乗り川戸正次郎（当時五十一歳）自らが、操縦桿を握った。機は、滑走路半ばで既に空へ舞いあがっていたというエピソードまでついた。テスト・パイロットにまかせていたら、恐らくF A Aの飛行許可は下りなかったであろうと言われている。それ程の凄腕である。

また生命保険会社は、現に精神異常者でないという証明書を書き医者からもらって来たら、話し相手になってやるとまで言った。本当にその証明書を取って行った。誰も信じなかった。すべてにおいてこの調子であった。それ程、この冒険が危険に満ちたものであるということだ。それにまだ単独太平洋横断を、無着陸で果した者はいな



かった。そして、その後も、ヨットによる横断のように、後に続く人が出て来ないのを見ても分かる通り、ヨットとは比較にならぬ程の困難を伴うことであろう。果せば世界新記録になる。まだ誰もやった者がいない、よしやろう、彼らは燃えた。

一九七六年二月四日、水曜日。その日は雨が降った。雨が降ると庭師の仕事は休みとなる。ローンモアショップで、下田正雄（四八歳）は、友人と四方山話をしていた。たまたま彼等が予科練関係者であることから、何時とはなく一度予科練関係者の集いを持つてはどうかという話になって行つた。第一回目の新聞広告を四月十三日に出し、五月八日の土曜日夕刻、彼らはその会合を二番街の「あきレストラ」にて開いた。

甲八期を先頭にして、十一期、十三、十四、十五期と十八名が整列した。その中に、甲八期の川戸正次郎がいた。川戸を連れて来たのは、甲十三期の沖田清（四九歳）であった。彼らはその会の名称を「同期の桜会」と名づけ、顧問を川戸に、会長を岩橋薫（四九歳、十三期）、副会長に大下（十一期）、下田（十三期）、出野（十四期）、の各氏を選んでゐる。この席で川戸は、自分のアメリカに來た（前年の七五年三月渡米）目的を明かす。それは、小型機で太平洋を無着陸、単独で横断したいという十年來の夢であった。それは、言つて見れば戦後の三十年間を、このためにだけ生きて來たようなものでもあった。日本で実現する可能性がないと見た氏は、アメリカでその夢を果たすべく、やつて來たと語つた。川戸は飛ぶために生まれ、飛行機と共に生きて來た男であった。ラバウル航空隊では零戦に乗り、敵機を十九機撃墜した華々しい戦歴を持つ。グラマンF4Fワイルドキャットから始まり、F6F、P38、39、40戦闘機。

東京初爆撃に使用されたB24ドウィットル爆撃機、B25、B26。中でもB24は四方八方銃口が向いていて攻撃する死角がつかめず、零戦で体当たりをかませて、自らも空中へ脱出した。十九機の中には、やむにやまれぬ体

当たりで落としたのが三機含まれている。不死身の川戸と呼ばれた。しかし最後にはニューブリテン島の南岸で、撃墜され、三日間海に浮かんでビストルで自決を図つた。一九四五年五月末のことであつた。頭に弾丸を撃ち込んだまま倒れているのを、捕虜になつた。ニューギニアへ連れて行かれ、アメリカのエドワース空軍基地に送られた。その後日本に帰り、戦後は航空自衛隊でジェット機の乗員訓練の教官、テスト・パイロットを十六年間、務めた。そのあと、日本航空のパイロットとして三年半。航空写真の会社四年ばかり。が、年來の夢、抑えがたく、渡米。

話を聞き事情を知つて、「同期の桜会」は、創設と同時に一つの課題を与えられたことになる。

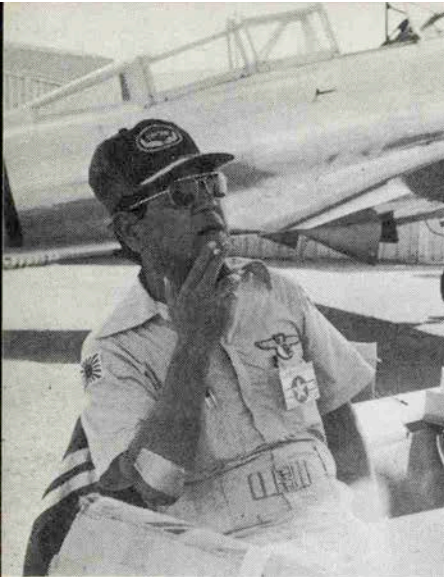
もともと明確な目的などある筈がなく、みんな集まつて思ひ出話などをするクラス会のようなつもりだった。太平洋横断飛行に本格的に取り組むことを決定してから、大半が抜けて行つた。誰も慰留することは出来なかつた。

年令的に子供達が大学に入つたり結婚したりする、人生のある時期にさしかかつていたからだ。最後には七人ばかり残つて、友人から借金したり自ら負担した総額、三万\$余り。

決して楽な金ではなかつた。リースした飛行機は六九年制のバイバー・コマンチ、普通ガソリンを満タンにして八九ガロンのところへ、無着陸で太平洋を横断するためには更にドラムカンで八本分のガソリンを搭載しなければならぬ。標準の重量を千五百ポンドもウェイト・オーバーすることになる。並の腕では離陸することが不可能である。着陸許可を求めて日本へ一歩先に來日した岩橋薫は、通産省で「そんな飛行機は絶対に飛びません」と言われた。

岩橋薫が、日本の着陸許可を求めて運輸省航空局などと交渉している間に、七月二十日、アメリカロングビーチでは、飛行機のガソリン補助タンク取り付けやその他





(左)チノエアポートでのエアショーにて自著にサインをする川戸正次郎氏 (右)愛車トランザムと岩橋薫氏

の改造修理は、すべて完了していた。

太平洋上の天候が穏やかな、夏の間に飛ばねばならぬ。計画では、日本へ島伝いにまず飛行機を運こんでいて、ノーストップでアメリカまで飛ばす腹である。岩橋は、日本の役所関係をたらい回しにされて、業を煮やした。明らかに日本は、初めてのケースで前例がないので困っている。役人は前例がないと動けない。しかし前例は、誰かが作るのだ。

みんな結局のところ責任逃れをしているとしか思えなかった。アメリカからは毎日のように、下田が矢のよう

な督促の電話を掛けて来た。

この間の電話料金だけでも、千\$は費っている。(アメリカの事情に精通しているのはお前だけだ。岩橋個人では動くな、ありのままに話せ) 下田も怒鳴るし、岩橋も腹が立つやら情けないやら。岩橋は、エア・ライセンスを七一年四五歳の時にとったが、米国では昼でも夜でも自由に飛行出来た。数多くの飛行場には、常時、三百や四百の民間機はいつでも駐まっている。飛行機を買ったら、いつだって飛べる。自動車免許を取るように、飛行免許証を取ることができる。岩橋は、航空局で役人相手に、声を荒げて言い争ったりもした。岩橋は十六の歳、アメリカの国籍を持ったまま、志願して予科練へ入った。三重の航空隊ではスパイではないかと疑われ、まる一日取り調べを受けた。当時、野球のバットを三角形に削りその三面に「海軍精神注入棒」と書いた奴で、尻を殴られた。服は血まみれになり、そのうち尻は、野球のグローブを水に浸したように内出血でどす黒くなり、感覚がなくなってしまった。休みの日に故郷に帰った風呂場で母が、息子の体を見て、泣いた。下田は、沖田と同じく鹿児島で入隊した。その後、チンタオに行き、陸戦隊に編入された。下田も沖田も小学校から中学まで、何かあるとアメちゃんとか二世二世と言われた。下田は「それでこっちこそ日本人としてやったる」という気持ちはありました」と語る。志願したその心の片隅には、その反発心が、引きがねになったようなところがあった。彼らは一様に地獄のような訓練を経験した。

日本の航空局が動かないからと言って、尻尾を巻いて退下するようなタマではなかった。

アメリカの連邦航空局より、日本の運輸省航空局長へ電報を打たせた。また米国務省からも必要なら日本の総理府へ受け入れを許可するように手配するとの連絡も受けた。

かくして機は、シアトルより飛び立つことになったが、八月十二日朝四時、濃霧のため出発は出来なかった。十

三・十四日天候不順。十五日大雨が来た。十六日、もう待てないと判断した川戸は、コースをハワイ・ウェーキ島、名古屋へと変更した。翌十七日午前八時、雨の中をハワイへ向けて飛び立った。その夜中、十八日午前二時、ハワイのコーストガードより十時間連絡がないので今から捜索に入りたいとの電話が入った。飛行機の色、信号機、発煙装置、パイロットの国籍、経験、親族などについて訊いて来た。その頃機は雨と雷の中で、無線機のローランが煙を吐き、もう少しで空中爆発するところだった。電気を切り、雷雨の中を、川戸は暗闇で飛行していた。そのため、コースを間違えた。結局ハワイまで二十時間かかった。次のウェーキ島には、第三者への保険金を百万\$にしないと着陸出来ないと言われた。ロンドンの保険会社と交渉して解決したが、F A A の機嫌は悪くなった。

川戸が名古屋空港に着いたのは、日本時間八月二十三日十九時であった。岩橋が迎えていて、思わず岩橋は涙をもらした。

九月五日午前七時、いよいよ、

シアトルに向けて冒険飛行に飛び立つ日はやって来た。この朝のことを、朝日・読売・毎日をはじめとして、産経・中日・神戸・東京、あらゆる新聞が、一斉に報道している。曰く「太平洋小型ひとつ飛びGO」、曰く「太平洋無着陸飛行に挑戦」、記事の要旨は、(アメリカ建国二百年を祝うと共に太平洋に散った日米両軍将兵の霊を上空から慰めたい、と羽田空港からシアトルに向け、単発機による太平洋横断無着陸飛行に飛び立つ。コースは千島、アリューシャン列島沿いの洋上飛行で、アメリカ西海岸のシアトルまで全長約八、〇〇〇キロを三十一時間で結ぶ予定)



(上)この夏ボナ平原で開かれたエアショー(下)零戦の前で筆者

九月五日(アメリカ時間)真夜中の雨の空港、シアトル上空を見上げながら、先に帰国した岩橋をはじめとして下田、沖田、有座らが、もう着く頃だと今か今かと首を長くしていた。予定時刻を三時間程過ぎた頃、シアトルの管制塔に居た岩橋は、米軍の迎撃用機がカナダ軍と国籍不明の飛行機が飛んで来る、エスコートしようかと話しているのを、聞いた。傍受した川戸が子供じやあるまいし、エスコートは要らぬと断っているのも、聞かえて来た。いよいよ到着する。

F A A のクリアランスは、どこの飛行場でもよいから一番初めに見たところに降りてくれというものであった。三百七十里程離れた、クリセントシティという田舎町に舞い降りていった。出発から三十五時間二十六分であった。

この壮挙も、出発の際に比べて、マスコミにおけるその取り扱いはいささかだった。なぜなら、その日、函館へ不時着したミグ二五五連機のニュースが、すべてを紙面から吹きとばしてしまったからであった。男達のユメを乗せて飛んだパイパーコマランチは、今はもうこの世には存在しない。その後、機はロングビーチの格納庫に置かれていたが、二年前米人医師がメキシコ上空で墜落して全焼してしまった。そして同期の桜会の活動もまた、太平洋横断飛行の計画に始まり、成功後飛行機とともに燃え尽きてしまった感がある。まことに、さわやかなものである。「一部には私達のことを右翼の集まりと言っている向きもあるようですが、考えても御覧なさい、もう三十五年も前のことです。今じゃ郷愁と言った方が良いでしょうね」と、岩橋は寂しげに微笑する。まことに、爽やかなっものはものどもが夢の跡である。(了)